

**今日のトピック** **メキシコの金融政策（2015年12月）**

**米国に追随利上げ、通貨安を警戒**

**ポイント1** **0.25%引き上げ3.25%に  
大方の市場予想通りの利上げ**

- メキシコ銀行（中央銀行、以下中銀）は17日、過去最低の3.00%としていた政策金利（翌日物銀行間レート）を0.25%引き上げ、3.25%とすることを発表しました。
- 中銀は、米国の金融政策発表を考慮し、自国の政策発表の日程をその翌日に変更していました。16日に米国が利上げしたことや、その前後にメキシコペソが米ドルに対して下落傾向になっていたことなどから、市場では利上げを見込む見方が優勢でした。ブルームバーグの事前調査では、エコノミスト26名中21名が政策金利の0.25%引き上げを予想（5名は据え置きを予想）していました。

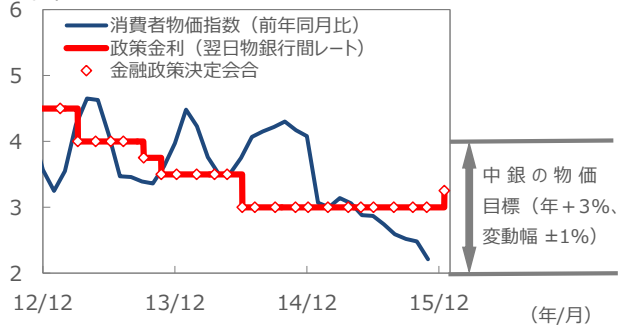
**ポイント2** **通貨安を警戒  
米国の金融政策を今後も注視**

- 中銀は、今回の利上げの目的をペソの無秩序な下落や物価の上振れなどを防ぐこととしました。物価が落ち着いている状況下でも、追随利上げを行うことで急激なペソ安を回避する意図があると見られます。
- 声明文では、米国の金融政策を引き続き注視していく姿勢が示されました。今後も米国の緩やかな利上げに追従することが予想されます。

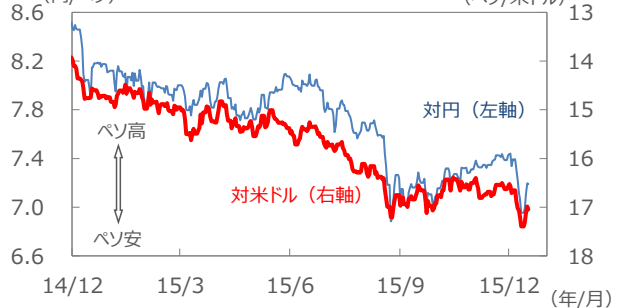
**今後の展開** **メキシコペソは底堅い推移へ**

- 物価の落ち着き、低い金利水準、堅調な米国景気などから、来年以降メキシコの景気は緩やかな加速が見込まれます。中銀が通貨安定に配慮していることもあり、ペソは底堅い推移が期待されます。

【政策金利と消費者物価指数】

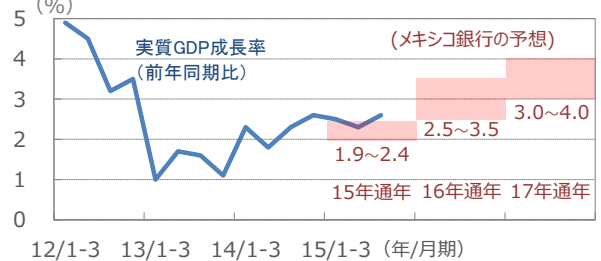


【メキシコペソ】



(注) 政策金利は2012年12月1日～2015年12月17日。  
消費者物価指数は2012年12月～2015年11月。  
メキシコペソは2014年12月1日～2015年12月17日。  
(出所) Bloomberg L.P.、メキシコ銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【実質GDP成長率】



(注) 実績は2012年1-3月期～2015年7-9月期。  
メキシコ銀行の予想は、11月4日発表のインフレレポートによる。  
(出所) Bloomberg L.P.、メキシコ銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック!** **2015年12月17日 米国利上げ直後の市場動向**  
**2015年12月17日 FOMC声明、緩やかな利上げを明示**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。